

小学校国語科における  
思いや考えを明確に書く力を育む指導の工夫  
— 「分割式推敲プラン」の実践を通して —

研究構想図

長期研修員 丸山 みのり

学習過程の工夫

目指す児童像 **思いや考えを  
明確に書くことのできる児童**

「分割式推敲プラン」

交流

清書

推敲  
②

記述

推敲  
①

構成

取材

課題設定

◆適切に書こうとする態度

清書作文を読み合い、記述の  
効果やこれからは生かしたい  
点を話し合う。

◆明確な記述

主張が明確になるよう、文脈  
や段落のつながりなど記述  
が分かりやすいかを考える。

◆明確な構成

構成メモを基に、頭括型・尾  
括型・双括型など明確な構成  
になっているかを考える。

『書き技シート』の活用

ピア活動

協働的学び

指導事項  
の定着

児童の実態

- ・構成や表現の工夫の仕方、  
文の直し方が分からない
- ・読み手意識が低い
- ・推敲や交流の経験が少ない

教師の課題

- ・指導事項が分かりにくい
- ・個別指導に対応しきれない
- ・授業時数が超過する
- ・教師の手直しで清書させる

交流

◆適切に書こうとする態度

達成感

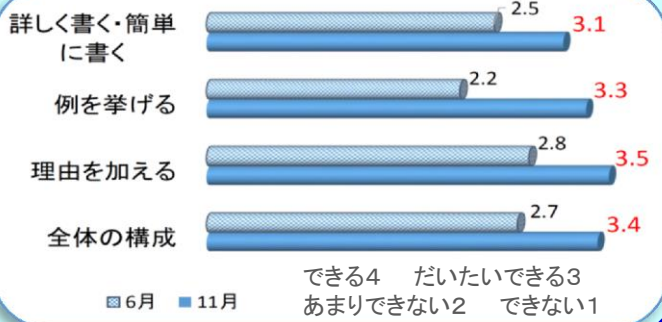
はじめより、良い意見文になった!

学ぶ意欲

満足感

次に書く時の参考にしよう!

児童の意識の変容



清書

◆明確な記述

自分の判断で修正

『書き技シート』の活用

『書き技シート』で確かめよう

同じ言葉が繰り返し使われているね

違う言葉にしてみようかな

書き技シート②・レベルアップ

分かりやすい記述(意見文)

- 書き出し(印象的に)
  - 全語・半語・引用(か)
  - 開いたけ(か)を挿入(か)
  - 繰り返しかけ(か)を挿入(か)
  - 考え(意見)を挿入(か)
  - 事実(周知の事)を挿入(か)
- 表現技法(効果的に)
  - 比喩(たとえ)
  - 排比(並べ)
  - 対比(対比)
  - 擬人(擬人)
  - 擬声(擬声)
  - 擬態(擬態)
  - 排比(並べ)
  - 対比(対比)
  - 擬人(擬人)
  - 擬声(擬声)
  - 擬態(擬態)

推敲②

◆明確な構成

自分の判断で修正

終わりの主張は書き方を変えてみたら?

説明するうちに直すところが見付かった! 事例を増やそう

書き技シート①・レベルアップ

分かりやすい構成

- 基本の型
  - はじめに 読後感を書き出す(読後感・読後感)
  - 中 くりかえし書く(意見文・読後感・読後感)
  - 終わりに 読者の意見・感想を書く(読後感・読後感)
- 主題(自分の言いたいこと)を伝える型
  - A 読後感(読後感)
  - B 読後感(読後感)
  - C 読後感(読後感)
- 主張(自分の主張)を伝える型
  - A 読後感(読後感)
  - B 読後感(読後感)
  - C 読後感(読後感)

記述

推敲①

構成

成果と課題

- 「分割式推敲プラン」によって構成と記述についてしっかり考える場ができ、明確に書く力が付いた。
- 『書き技シート』の内容が習得できるよう繰り返し活用を図り、定着させていく。

提言

- ・『書き技シート』の内容を変えることで、他の文種や中学年にも、分割式推敲プランの活用を図っていく。
- ・教師は、あらかじめ個々への支援を考え、実態に応じたアドバイスを入れる必要がある。